

2025 年 2 月 28 日
日本郵便株式会社信越支社
東日本旅客鉄道株式会社長野支社

～日本郵便信越支社×JR 東日本長野支社 連携事業第1弾～
長野県産フルーツマト「さやまる」を通じた連携事業を実施します

- 日本郵政株式会社（以下、「日本郵政」）、日本郵便株式会社（以下、「日本郵便」）および東日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR東日本」）は、2024年2月21日（水）に社会課題の解決に向けた協定を締結し、両社グループの連携強化を進めています^{（注1）}。
- このたび、日本郵便株式会社信越支社（以下、「日本郵便信越支社」）と東日本旅客鉄道株式会社長野支社（以下、「JR東日本長野支社」）の連携事業第1弾として、日本郵便オリジナル商品の長野県産フルーツマト「さやまる」^{（注2）}（以下、「さやまる」）の農作業体験型研修を実施します。
- また、実証実験として、JR東日本グループの列車荷物輸送サービス「はこビュン」^{（注3）}および日本郵便の「郵便局ロジスティクスサービス」^{（注4）}を活用し、早朝に収穫した採れたての「さやまる」を大丸東京店にお届けして販売します。これにより、仕組みや運用の観点から他の農家や農産物においても有効な取り組みとなるかを検証します。
- 日本郵便信越支社とJR東日本長野支社では、両社が保有するリソースやノウハウを掛け合わせて、今後も社会課題の解決に取り組んでまいります。

1 農作業体験型研修

日 時	2025 年 3 月 7 日（金）11：00～17：00
場 所	・ 日本郵便信越郵政研修センター 2F 講堂 ・ さやまる農場 〒380-8798 長野県長野市栗田 752-1
参 加 者 等	参加者：日本郵便信越支社社員、JR 東日本長野支社社員 主 催：日本郵便信越支社、JR 東日本長野支社
内 容	・ 長野県農政部および JA 長野中央会からの講話 ・ さやまるプロジェクト概要説明 ・ さやまる農場での農作業体験 ・ グループディスカッション
研 修 目 的	・ 社員の就農関心層の拡大を図り、農作業支援による地域産業維持に貢献する意識を向上させる。 ・ 連携協定に基づいて社員研修を協同実施することにより、社会課題解決に向けた連携強化を進める。 ・ 研修実施に併せて、早朝に収穫したさやまるを、当日中に輸送・販売する実証実験を行う。

2 実証実験の概要

実施日	2025年3月7日（金）
役割	・日本郵便（さやまの出荷、さやま農場から長野駅までの輸送） ・JR 東日本グループ（長野駅から東京駅間の「はこビュン」での輸送、東京駅から販売場所までの輸送）
内容	農場から販売場所までを、日本郵便と JR 東日本グループの輸送網をつなぎ、早朝に収穫した農作物を販売するオペレーションの実証
輸送列車	あさま 614 号（長野駅 11:28 発→東京駅 13:12 着）
販売場所	大丸東京店 地下 1F 青果物コーナー（フレッシュワン） 〒100-6701 東京都千代田区丸の内 1-9-1
販売時間	14:00 頃～20:00 ※売り切れ次第終了

※本リリースに掲載の内容等は、状況により予告なく中止、変更となる場合があります。

（注1）「社会課題の解決に向けた連携強化」に関する協定について

日本郵政グループおよび JR 東日本グループが連携することにより、両グループを発展させながら、「地域コミュニティの弱体化」や「労働の担い手不足」など、日本の抱える社会課題の解決に貢献していきます。

「郵便局・駅の地域コミュニティ拠点化」、「持続可能な物流の実現」、「アセット連携による共創型まちづくり」、「地域産業振興と新たな地域事業創造」、「デジタル化による地域の暮らし支援」を特に連携強化する“5 本柱”と位置づけ、強力に推進します。

- 報道発表資料：日本郵政グループと JR 東日本グループとの「社会課題の解決に向けた連携強化」に関する協定締結について（2024 年 2 月 21 日）

https://www.japanpost.jp/pressrelease/jpn/2024/02/20240221_01.pdf



（注2）「さやま」について

「さやま」は、日本郵便が生産からお届けまでを手掛けるオリジナル商品です。この商品は、学校法人東京農業大学の指導の下、2018 年に始めた実証実験を経て、2020 年に商品化したものです。

商品名の「さやま」は、生産地である長野県長野市の郵便番号「380」にちなんで名付けました。

濃厚な甘さとしっとりとした食感が特長のフルーツトマトで、2023 年から 2024 年にかけて日本野菜ソムリエ協会主催の「野菜ソムリエサミット」金賞を連続受賞するなど、外部機関からも高い評価をいただいています。長野県、新潟県をはじめとした販売エリア内の郵便局に設置するふるさと小包チラシで申し込みを受け付けている他、自社 EC サイト「郵便局のネットショップ」でも販売しています。

- 郵便局のネットショップ 商品ページ

<https://shop.post.japanpost.jp/shop/pages/380project.aspx>

- 報道発表資料：長野県産フルーツトマト「さやま」の販売開始

https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2025/00_honsha/0131_02_01.pdf



（注3）「はこビュン」について

速達性・定時性に優れ、環境にも優しいという鉄道の強みを活かし、JR 東日本グループが展開している荷物の輸送サービスです。鉄道によって地域とモノをつなぐことで、地域の魅力発信を行い、人々の豊かなくらしづくりや社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

- 「はこビュン」の具体的なサービスは以下をご参照ください。

<https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/shinkansen.html>



(注4)「郵便局ロジスティクスサービス」について

日本郵便は、全国を網羅する郵便・物流ネットワークの強みと、お客さまの物流課題に寄り添って改善をすすめることで得てきたノウハウを強みとして、商品の保管、ピッキング、流通加工などや物流システム構築支援のメニューをご用意しております。

郵便局ロジスティクスサービスは、比較的小規模な物流作業のスポット対応や一部の物流作業のみをアウトソーシングしたいなどのニーズに、フレキシブルにお応えします。

また、お客さまのビジネスの特性や課題、経営戦略に合わせて、立地や規模など、最適な物流拠点をご提案いたします。

お客さまのご要望に応じてこれらを組み合わせ、物流の課題解決に向けた物流ソリューション営業を展開しております。

○「郵便局ロジスティクスサービス」など法人向けの具体的なサービスは以下をご参照ください。

<https://www.post.japanpost.jp/bizpost/index.html>

以 上